

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [生涯学習](#) | [歴史雑学](#) 9. 「弘法も筆のあやまり」とは？
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

歴史雑学 9. 「弘法も筆のあやまり」とは？

「弘法も筆のあやまり」とは、どんな名人にも間違いはあるものだ、という意味で使われることわざの一つです。弘法大師といえば平安時代の僧・空海のこと。真言宗の開祖として知られていますが、書の名人としても有名で、嵯峨天皇、橘逸勢とともに「三筆」とよばれました。この弘法大師が字を書き損じた話は『今昔物語』に収められています。

京の大内裏に応天門という門があります。弘法大師は、勅命を受けて、この門に掲げる額を書くことになりました。ところが書き終えて額を門に掲げてみると、「応」の字に点を打つのを忘れていたのです。そこで弘法大師はどうしたかというところ、「応天門の額打ちつけて後これを見るに、始めの字の点、すでに落ち失せたり。驚いて筆を投げて点を付ける。もろもろの人がこれを見て、手を打ちてこれを感じず」。つまり、筆を投げて点を打ったというのですから、さすがにたいしたものですね。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 📄 このサイトについて 📄 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.